

経済産業省における主ながん対策関連予算について

がん対策関連予算平成23年度概算要求額: 83.6億円<46.0億円> (70.5億円)

<>内は元気な日本復活特別枠
()内は平成22年度予算額

1. 医療機器関連 50.8億円<46.0億円>(12.2億円)

○がん超早期診断・治療機器総合研究開発プロジェクト 20.8億円<16.0億円>(12.2億円)

最適ながん対策を実現し、患者の生活の質の向上を図るため、微小ながんを発見し、がんの特性を正確に把握することで最適な治療を実現するべく、

- (1)高精度な画像診断、病理診断、血中がん分子・遺伝子診断に係る医療機器
- (2)最小限の切除で確実な治療を実現する診断・治療一体型の内視鏡下手術支援システム、微小ながんを高精度に治療するX線治療機器を開発する。

○課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業

30.0億円<30.0億円>(新規)

我が国の医療の向上と、ものづくり産業の持続的成長を図るため、医療機器に対する課題やニーズを有する医療機関と、優れたものづくり技術を有する中小企業等との連携を支援し、文科省、厚労省と連携して医療機器の開発・改良を促進する。

2. イノベーションの創出・加速 16.2億円 (25.5億円)

○基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発 16.2億 (25.5億円)

先進医療技術を創出するために、医療現場のニーズに基づき、多様なバイオ技術など基礎・基盤研究の成果を融合し、円滑に実用化につなげる技術開発(橋渡し研究)を推進。研究開発テーマは、創薬技術、診断技術、再生・細胞医療、治療機器の4分野が対象。

3. 創薬に向けた支援技術 16.6億円 (32.8億円)

○後天的ゲノム修飾のメカニズムを活用した創薬基盤技術開発 2.4億円(3.2億円)

がん等の疾患に関与する後天的ゲノム修飾を解析する技術や疾患との関連づけにより診断の指標を特定する手法の開発等を行い、診断技術開発や医薬品開発の効率化に貢献する。

○ゲノム創薬加速化支援バイオ基盤技術開発 14.2億円 (15.7億円)

がん等の病気の仕組みを分子レベルで詳細に解析し、新薬候補物質を探索・評価する基盤技術を開発し、治療薬の開発に貢献する。